

新しいまちづくりのランドデザイン の検討について

1 新しいまちづくりのグランドデザインの検討の背景

グランドデザイン・大阪

(2012年(平成24年)策定)

グランドデザイン・大阪都市圏

(2016年(平成28年)策定)

グランドデザインを取り巻く環境の変化

大阪府域全体の大きな方向性を示す新たな構想等

大阪の再生・成長に向けた新戦略

万博のインパクトを活かした
大阪の将来に向けたビジョン

副首都ビジョン

など

社会情勢の変化や新たな潮流

世界のダイナミズム

- ・世界経済・人口の中長期的な拡大
- ・都市の国際競争力強化の必要性

テクノロジーの進展

- ・スマート・スーパーシティ、都市のDXの実証・実装
- ・モビリティ革命(自動運転・空飛ぶクルマ)
- ・デジタルとリアルの融合

暮らしを取り巻く環境変化

- ・人口減少・少子高齢化の進展
- ・低未利用地・空き家の増加
- ・新型コロナを契機とした新しい生活様式の普及

国際拠点の形成

- ・大阪・関西万博の決定、IR誘致の取組み
- ・国際金融都市に向けた取組み
- ・国家戦略特区の展開

産業動向の変化

- ・第4次産業革命による産業形態の変化
- ・製品購入からサービス購入の時代へ
- ・生産拠点等の国内回帰等、サプライチェーンの強化

安全・安心の確保

- ・自然災害の激甚化・頻発化、切迫
- ・高度成長期以降に整備されたインフラの更新

観光・インバウンドの動向

- ・世界的な観光需要の高まりと観光形態の変化
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録

持続可能な社会に向けた動き

- ・SDGs達成への意識の高まり
- ・カーボンニュートラル、グリーン&ブルーカバリーの提唱

踏まえ

考え方を
整理・統合

新しいまちづくりのグランドデザインの検討に着手

2 「ランドデザイン・大阪」について

2050年を目標に、変化し、躍動する大阪の今後の方向性を、広く世界に発信するとともに、大都市・大阪の都市空間の姿を分かりやすく示すもの（2012年（平成24年）策定）

【将来像】

多様な価値を創造する大都市・大阪の実現 ～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～

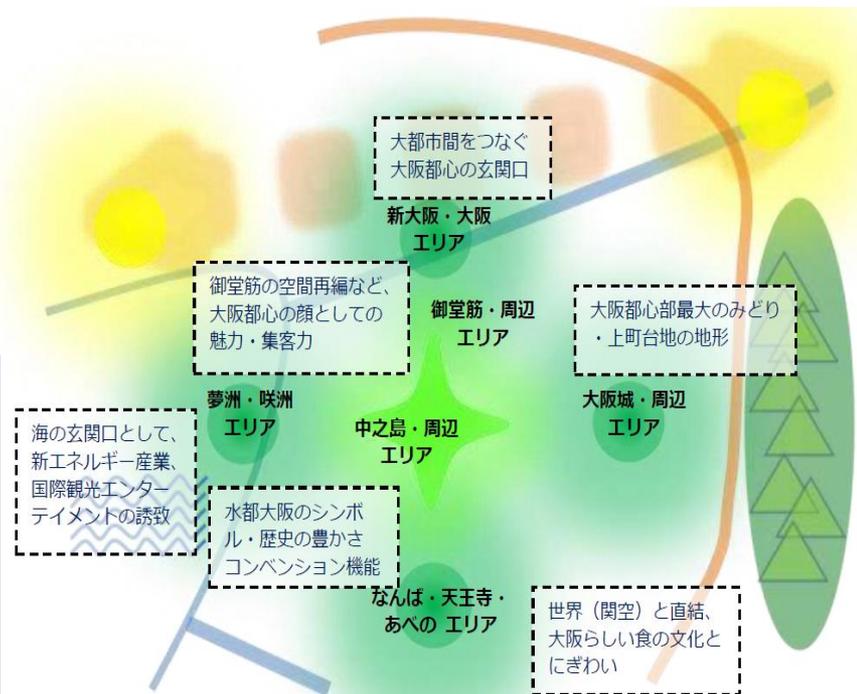
- 強い大都市・大阪 ～国際競争に打ち勝つ～
- 便利で快適な大都市・大阪
- 多様な人材が集積する大都市・大阪
- 都市魅力あふれる大都市・大阪
- 安全・安心な大都市・大阪

【取組みの視点・考え方】

- 仕組みのグレート・リセット
民間主導／府市バラバラからの脱却／
段階的に実行
- ハードのグレート・リセット
みどりを圧倒的に増やす／
水を綺麗によみがえらせる／
街並みを美しく生まれ変わらせる

【取組み内容】

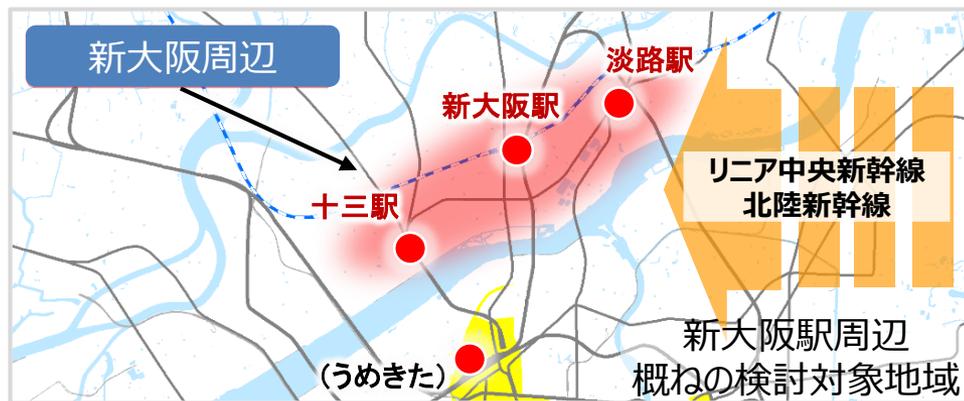
大阪らしいポテンシャルとストックを持つ
象徴的な6エリアのポテンシャルと今後の
取組みを提示



2 「グランドデザイン・大阪」の主な取り組み

新大阪・大阪エリア

うめきた



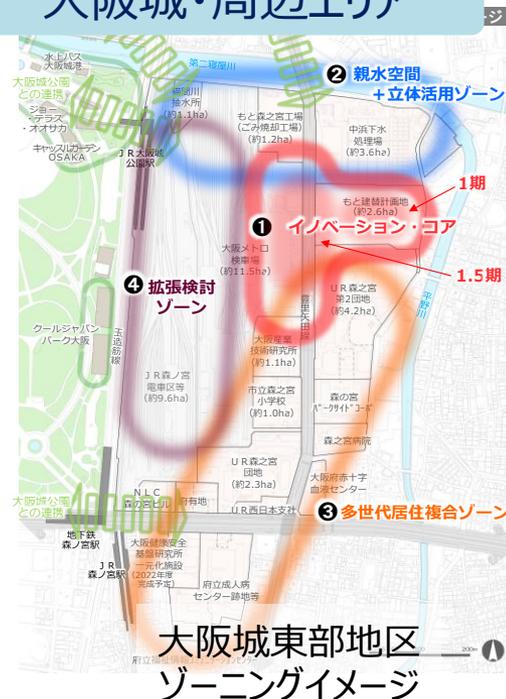
夢洲・咲洲エリア



中之島・周辺エリア



大阪城・周辺エリア



なんば・天王寺・あべのエリア



御堂筋・周辺エリア



※ 6 エリア内の都市再生緊急整備地域では「うめきた」をはじめとした都市開発にあたり、都市再生特別地区を活用。
今後、他地域でも都市再生特別地区などの制度を活用することで民間活力を呼び込み、緊急かつ重点的に市街地の整備を促進

3 「グランドデザイン・大阪都市圏」について

関西全体を視野に、概ね関西大環状道路の範囲内を大阪都市圏として、2050年を目標に「広域連携型都市構造」への転換を行い、民間主導により、人・モノ・情報・投資を呼び込める府域全体の都市空間創造に向けた大きな方向性を示すもの（2016年（平成28年）策定）

【基本目標】

**東西二極の一極を担う大阪都市圏の実現
～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～**

【目標】

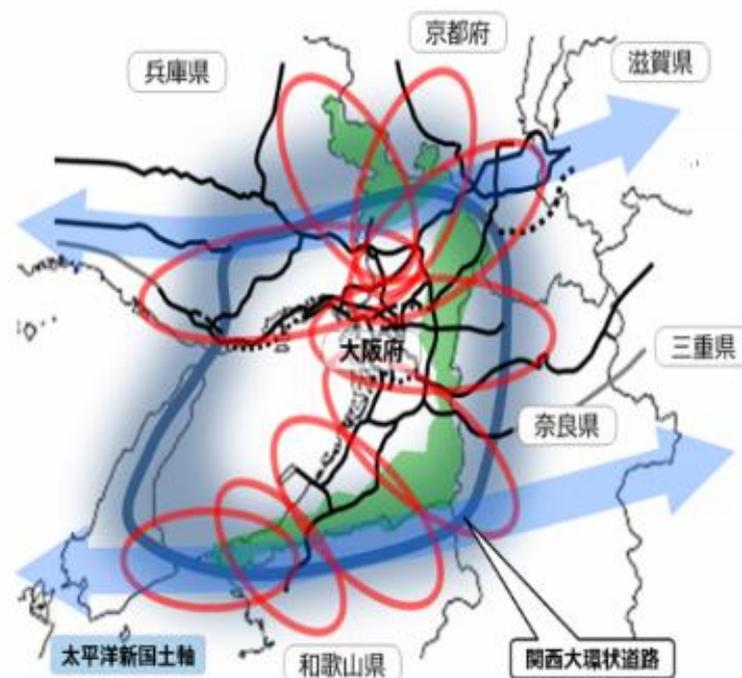
- 都市間競争に打ち勝つ
- 多様な人材が集積する
- 都市魅力あふれる
- 便利で快適
- 安全・安心

【基本的な考え方】

多様な人材の集積 **好循環** 地域価値の創造

【取組み内容】

広域連携型都市構造への転換、産業、自然環境などの地域資源を活かした取組みを提示



3 「グランドデザイン・大阪都市圏」の主な取組み



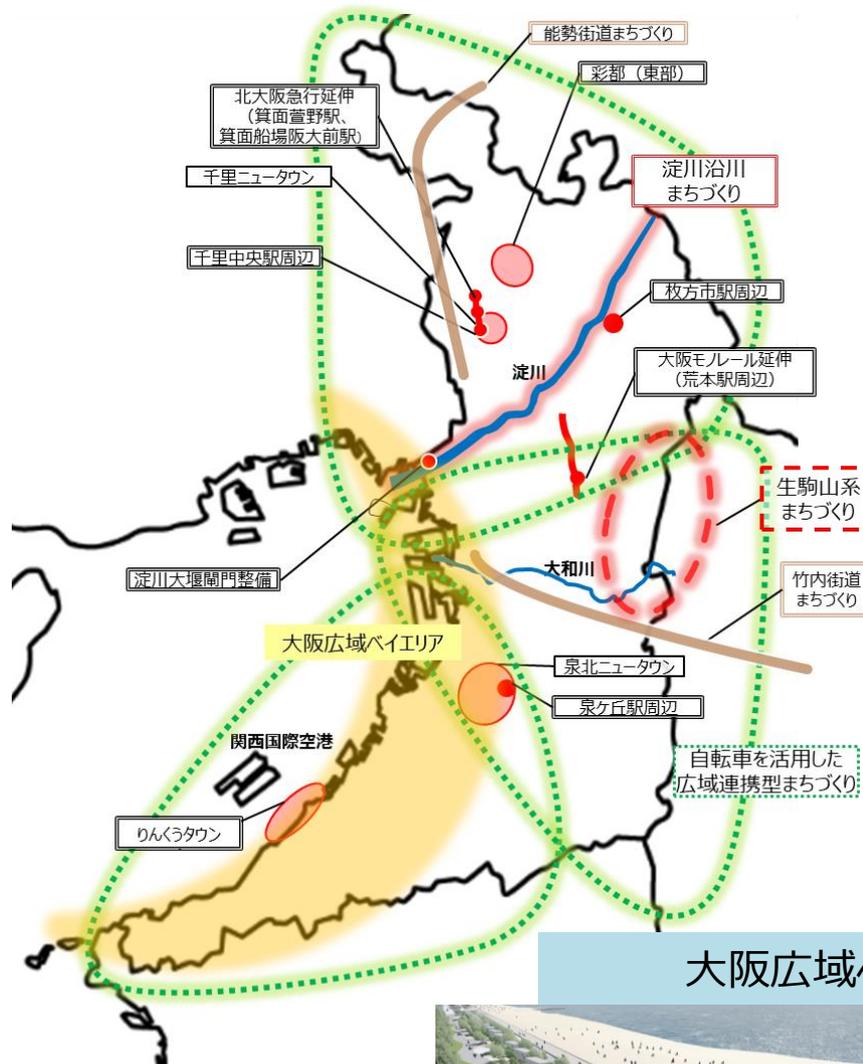
彩都（国際文化公園都市）東部地区



北大阪急行延伸
（箕面船場阪大前駅周辺）
複合施設イメージ



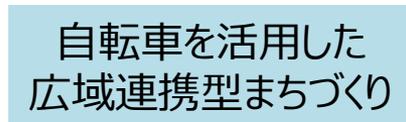
泉北NT（泉ヶ丘駅周辺）
近畿大学病院イメージ
（近畿大学HPより）



淀川沿川
広域連携型まちづくり



淀川を航行する観光船
（淀川河川事務所HPより）



自転車を活用した
広域連携型まちづくり



さくらであい館 走行会



大阪広域ベイエリアまちづくり



りんくうタウン
（SENNAN LONG PARK HPより）



堺旧港

4 新しいまちづくりのランドデザインの検討について

ランドデザイン・大阪とランドデザイン・大阪都市圏の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえつつ、大阪・関西万博のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都・大阪」として、さらに成長・発展していくため、現在の2つの計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいランドデザインの検討を行う。

検討項目のイメージ

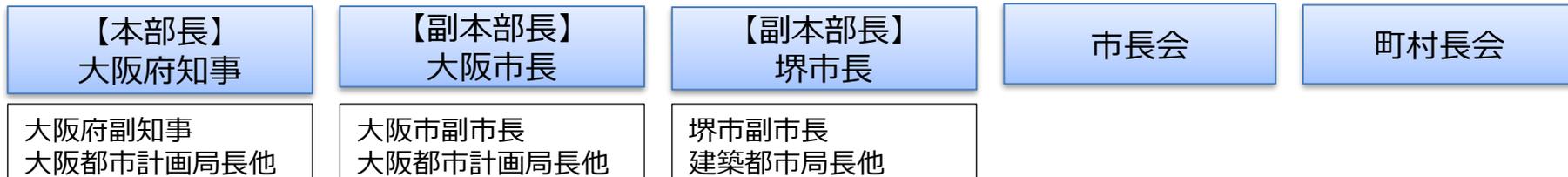
- **広域経済交流圏の拡大への対応**
 - ・スーパー・メガリージョンの核、太平洋新国土軸を含む西日本経済の核となる都市の形成
- **国際的な大都市に相応しい拠点エリアと魅力形成**
 - ・国際交流拠点・イノベーション拠点の形成、国際金融都市に向けた取り組み、スーパーシティの推進
- **府内各地域の中核となる拠点形成と特色あるまちづくりの推進**
 - ・地域の核となる拠点の形成・再生、先端産業・グリーン成長産業等の産業用地の創出
- **都市間連携、広域連携によるまちづくりの推進**
 - ・地域資源を活かした連携まちづくりの推進（ベイエリア、淀川舟運、広域サイクル、街道、山系の活用など）
- **交通インフラと連携したまちづくりの推進**
 - ・道路・鉄軌道ネットワークや新たなモビリティと連携したまちづくり、都市の骨格形成
- **新しい生活スタイルを先導するまちづくりの推進、住環境の整備**
 - ・テクノロジーの積極的な導入等による郊外住宅地や主要駅周辺等の再生
- **持続可能で災害に強く、安全・安心な都市の形成**
 - ・カーボンニュートラルなまちづくりの推進、激甚化・頻発化・切迫する自然災害への対応の強化
- **都市のストック・ポテンシャルの活用**
 - ・都市のDX、水辺や歴史資源の魅力創出、みどり・オープン空間の利活用、グリーンな移動

等

5 新しいまちづくりのランドデザイン 検討体制・スケジュール（案）

○ 検討体制（案）

（仮称）新しいまちづくりのランドデザイン推進本部会議



（仮称）新しいまちづくりのランドデザイン推進本部事務局：
大阪都市計画局（令和3年11月 府市共同設置）
堺市建築都市局（予定）

- ※1 今後、堺市長に推進本部会議への参画と副本部長就任を要請
- ※2 今後、市長会・町村長会に推進本部会議への参画を要請
- ※3 推進本部の下に、幹事会を設置し、実務的な協議を実施

懇話会等を開催し、意見を反映

学識経験者

民間事業者・経済団体等

市町村

○ スケジュール（案）

（仮称）新しいまちづくりのランドデザイン推進本部会議

第1回：R3 11月
（キックオフ）

第2回：R3年度中
（中間とりまとめ）

第3回：R4年中
（案作成）

有識者懇話会

第1回：本日
（論点整理）

（適宜開催）

第2回：R3.11
（中間とりまとめ）

第3回：R4年中
（素案）